

2021年度 自己評価・学校関係者評価報告書

園田学園女子大学附属園田学園幼稚園

1 本園の教育目標

生き生きと力いっぱい遊ぶ子ども

じょうぶなからだ

ゆたかなこころ

すすんでやる気

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領・保育所保育指針を踏まえ、一人一人の子どもを大切にされた質の高い教育・保育の実践を目指す。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育・保育の質向上のために園内研修を充実させる。	C	タブレットを購入し、子どもの実態把握、保育の反省に活かすことができた。週1回の職員会議後に事例検討を予定していたが、十分にはできなかった。また、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置のため、大学の先生を招いての園内研修も予定の半分しかできなかった。
2	同法人の高等学校・大学はもとより近隣小学校との連携を進める。	B	高校・大学との交流では、例年の交流に加え、新たに年長組の走り方教室、年長・年中組の運動遊び等の交流と広がった。が、例年行われていた凧揚げ交流は、高校の都合で急遽当日朝に中止となった。 上坂部小学校見学は昨年度に引き続き継続して行うことができた。
3	安全に子どもたちが生活できるように環境を整備する。	B	それぞれの学年に応じた環境を考え、子どもたちが自分たちで安全に遊ぶことのできる環境を作っていくことができた。年長児の冒険らんど(大型遊具)でのけがが複数件あり、タオルを巻くなどの対応策を考えた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4 総合的な評価結果

評価	理由
B	重点項目2, 3については、昨年度からの継続で、一定の成果が得られてきた。 1の園内研修、2の他校種との交流などはコロナ禍でできなかったことも多かった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育・保育の質の向上	タブレットを活用した園内研修を充実させる。
2	保護者との連携	タブレットを活用した保護者への情報発信を工夫する。
3	小学校との連携	幼稚園から小学校へ積極的に働きかける。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

6 学校関係者評価委員会の評価

- タブレットを購入し、園内研修や保護者への情報発信に活かそうとしていること、積極的に小学校へ働きかけ、見学などをさせていただいていること等の幼稚園の頑張りは評価できる。
- 安全面の説明にけがのことがあったが、「けがをしないように」ではなく、もちろん大きなけがはいけないが、「けがをすることも子どもにとっては大事な経験」と考えたらいいのではないか。小さなけがのけがを経験して、大きなけがを防ぐことができるような経験は大事にしてほしい。
- 保護者アンケートでは26 外部侵入対策の「余り思わない」が昨年度の3%から9%に上がっている。警備員の配置時間も変更がないにもかかわらず、増えたのはなぜだろうか。電子錠に加え、警備員の配置もある。そのことを保護者に理解していただけるように努めてほしい。
- コロナ禍でここ2年の保護者会活動は縮小しているが、幼稚園時代（3年前まで）の保護者会活動のイメージをもっている方もいるだろう。認定こども園になって3年目。就労している保護者もいっしょに、保護者会活動の在り方も考えていく時期になっている。